

わたしのまちの健康プロフィール

— 西部保健所版 —

作成日：令和4年9月

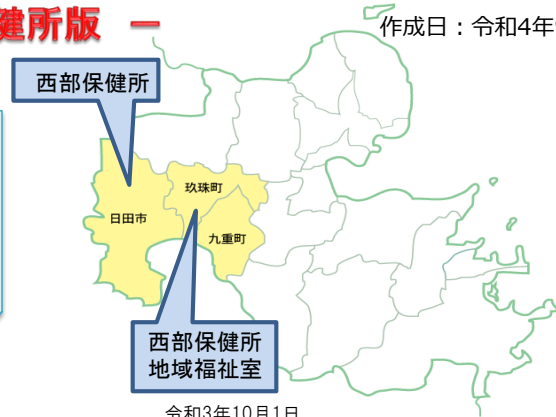
1 管内の概要

◆大分県西部保健所

〒877-0025 日田市田島2-2-5
TEL 0973-23-3133/FAX 0973-23-3136

◆大分県西部保健所 地域福祉室

〒879-4413 玖珠郡玖珠町塚脇137-1
TEL 0973-72-9522/FAX 0973-72-1016



2 人口

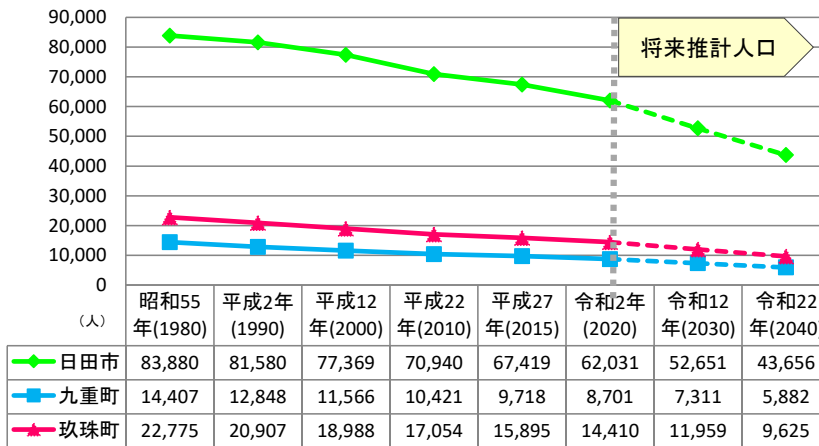
(1) 世帯数・人口・高齢化率

令和3年10月1日

区分	世帯数	総人口			高齢化率	県内順位
		総数	男	女		
大分県	497,216	1,113,749	529,067	584,682	33.7%	
管内	34,672	84,162	40,074	44,088	37.8%	
日田市	25,493	61,699	29,269	32,430	36.4%	13位
九重町	3,438	8,350	3,976	4,374	45.9%	3位
玖珠町	5,741	14,113	6,829	7,284	39.1%	9位

資料：人口・世帯数は、県統計調査課「大分県の人口推計」 人口は不詳者含む

(2) 人口推移

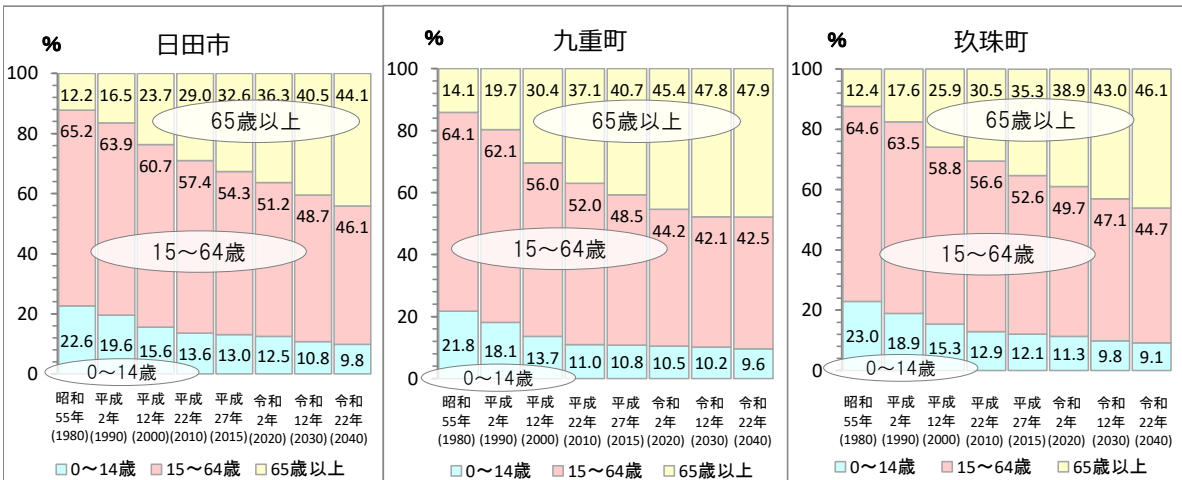


○いずれの市町でも人口は減少しています。昭和55年から令和2年までに、日田市では約26%、九重町では約40%、玖珠町では約36%減少しています。

○昭和55年と比較して、2040年までに、日田市では約48%、九重町では約60%、玖珠町では約58%の人口減少が予想されています。

○0～14歳の年少人口と15～64歳の生産年齢人口の割合が減少し、65歳以上の老年人口の割合の増加が予想されます。

(3) 年齢3区分別人口割合の推移



(2)(3)の資料：昭和55年～平成22年は総務省統計局 国勢調査（人口総数）

令和12年～令和22年は国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来人口推計（平成30年3月推計）

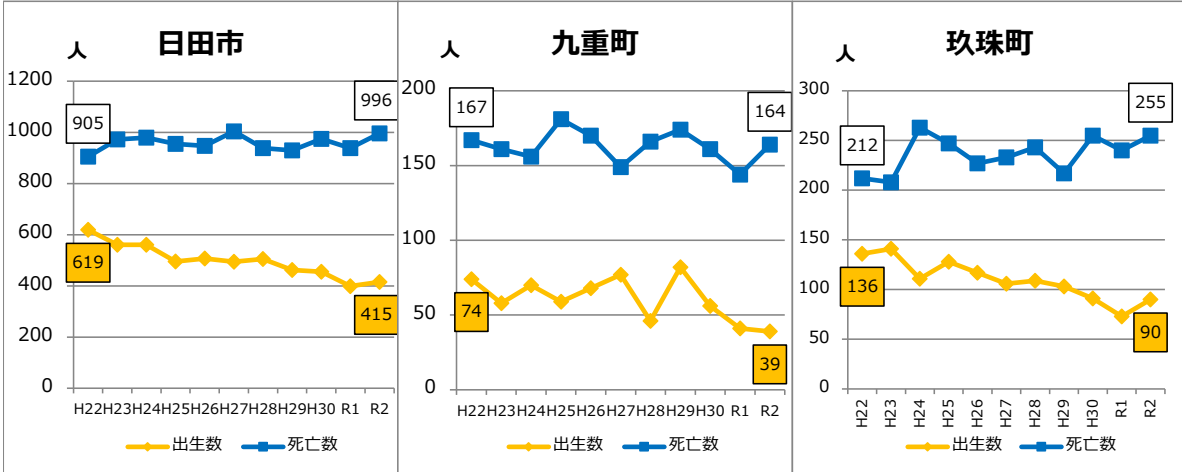
3 人口動態

(1) 出生・死亡

令和2年

	出生			死亡	
	実数	率 [人口千対]	2,500g 未満の実数 [再掲]	実数	率 [人口千対]
大分県	7,582	6.8	724	14,444	13.0
日田市	415	6.7	31	996	16.0
九重町	39	4.6	9	164	19.4
玖珠町	90	6.3	6	255	17.9

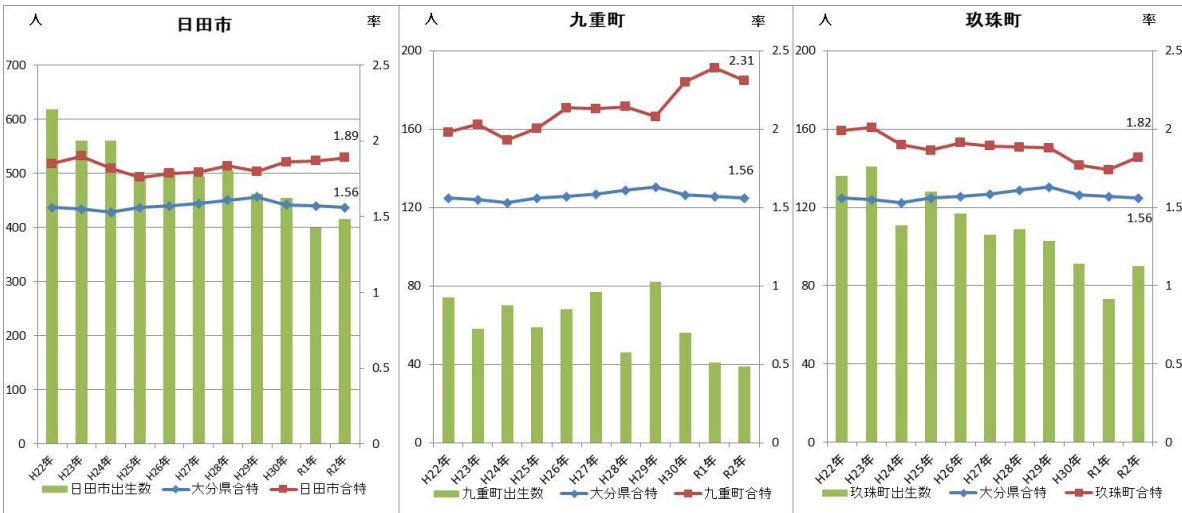
資料：厚生労働省「人口動態統計」



資料：厚生労働省「人口動態統計」

いずれの市町も、死亡数が出生数を大きく上回っており、県と比べて人口千人あたりの死亡率が高くなっています。高齢者の死亡数増は避けられず、出生数が増えない限り、自然減の傾向は今後も続いていくものと考えられます。

(2) 出生数・合計特殊出生率

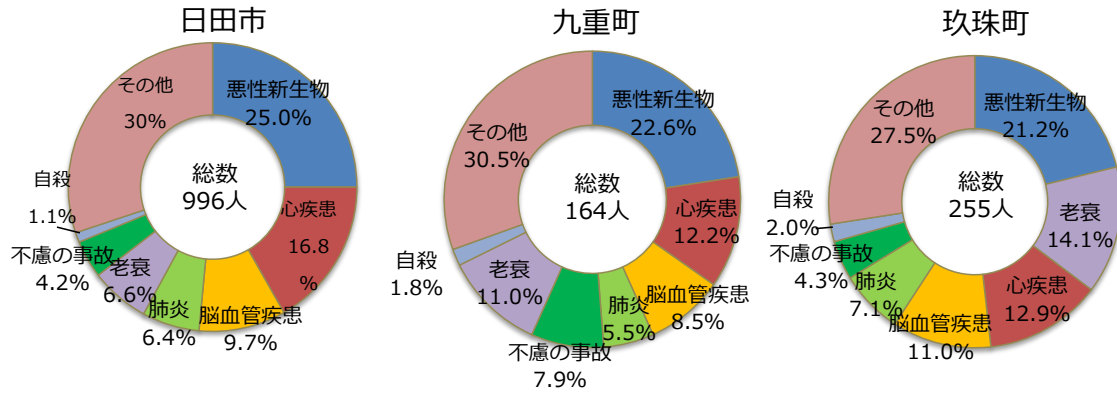


資料：厚生労働省「人口動態統計」

市町の合計特殊出生率：県福祉保健企画課調べ（その年次を含む前5年間の平均値）

合計特殊出生率とは、1人の女性が一生の間に産む子どもの数を表す指標で、人口を維持するためには2.07以上が必要です。管内の合計特殊出生率は県よりも高い数値で推移しており、県内順位は、日田市3位（1.89）、九重町2位（2.31）、玖珠町4位（1.82）で、日田市と玖珠町では人口を維持するための値を下回っています。

(3) 令和2年主要死因別死亡割合



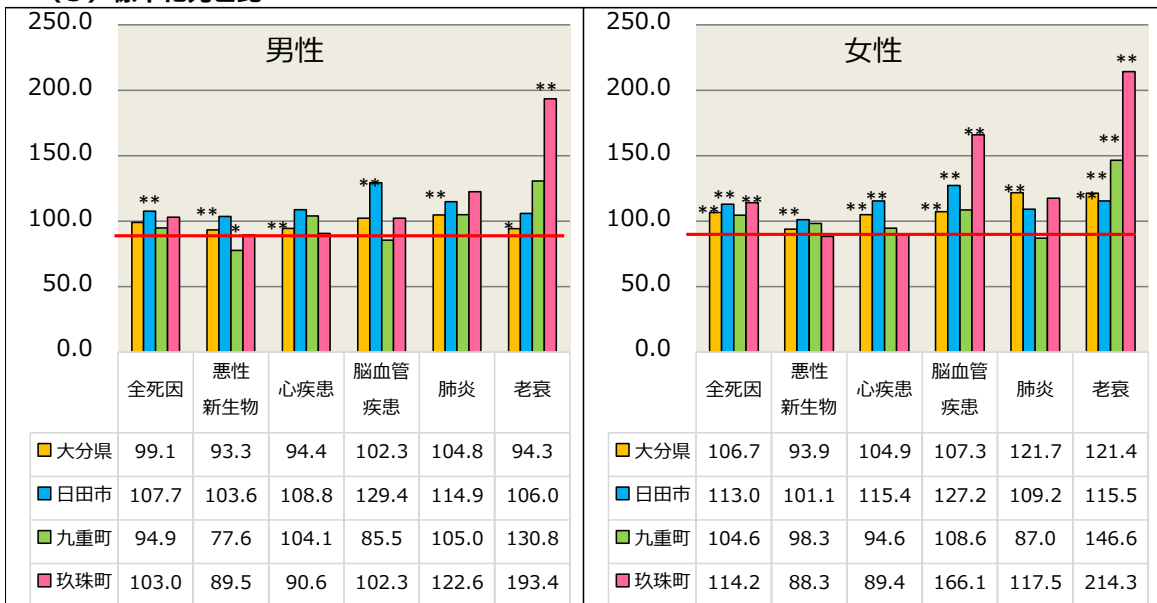
(4) 令和2年主要死因別死亡率 (人口10万対)

令和2年

	大分県		管内		日田市		九重町		玖珠町	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	実数	死亡率	実数	死亡率	実数	死亡率
総数	1299.4	1665.4	996	1600.5	164	1939.7	255	1785.7		
悪性新生物	326.4	400.2	249	400.1	37	437.6	54	378.2		
心疾患	198.5	258.9	167	268.4	20	236.5	33	231.1		
脳血管疾患	108	163.6	97	155.9	14	165.6	28	196.1		
肺炎	78.8	107.1	64	102.8	9	106.4	18	126.1		
腎不全	30.4	27.1	17	27.3	2	23.7	4	28.0		
老衰	122.7	141.2	66	106.1	18	212.9	36	252.1		
不慮の事故	41.5	77.7	42	67.5	13	153.8	11	77.0		
自殺	15.7	17.7	7	11.2	3	35.5	5	35.0		

(3)(4)の資料：人口動態調査都道府県標準結果（県福祉保健企画課） 注：率は人口10万対

(5) 標準化死亡比



資料：大分県健康指標計算システム（県福祉保健企画課）H28～R2年の平均

注：グラフの上側に、ポアソン分布からの有意差検定結果を次のとおり表している。

* 5%の危険率で有意に期待死亡率と差がある
** 1%の危険率で有意に期待死亡率と差がある

死因別の死亡数では、いずれの市町も上位5疾患（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肺炎、老衰）が全死亡数の6～7割を占めており、全国の死因上位5疾患と同様です。

また、管内は共通して死因1位が悪性新生物ですが、2位以降は各市町で異なる結果となっています。

死亡の状況は年齢構成に影響されるため、年齢構成を調節した指標「標準化死亡比」を用いて比較します。（この数字が100よりも大きければ、全国よりも死亡率が高い自治体であると考えられます。）

日田市では、男性は脳血管疾患、女性は心疾患、脳血管疾患、老衰で死亡する方が統計的に多いことが分かります。九重町では、女性は老衰で死亡する方が統計的に多いことが分かります。玖珠町では、男性では老衰、女性では脳血管疾患、老衰で死亡する方が統計的に多いことが分かります。

4 平均寿命とお達者年齢（市町村別）

○平均寿命

「平均寿命」は、0歳の子どもが何年生きられるかを示すもので、都道府県の数値は国が5年毎に公表しています。市町村の平均寿命も5年毎に国が算出していますが、大分県では独自に算出(※1)し、毎年公表(※2)しています。

○健康寿命

「健康寿命」は、健康で過ごせる期間を示したものです。国が算出する「健康寿命」は、国民生活基礎調査の結果を基に「日常生活に制限のない期間」を算出したもので、全国値と都道府県の値が3年に1回公表されます。平均寿命と健康寿命の差は、健康ではない期間を意味するので、この期間をなるべく短くする必要があります。なお、市町村では人口規模が小さく、国と同様の調査による「健康寿命」の算出は困難なため、類する指標として「お達者年齢」(※3)を大分県が毎年公表(※2)しています。

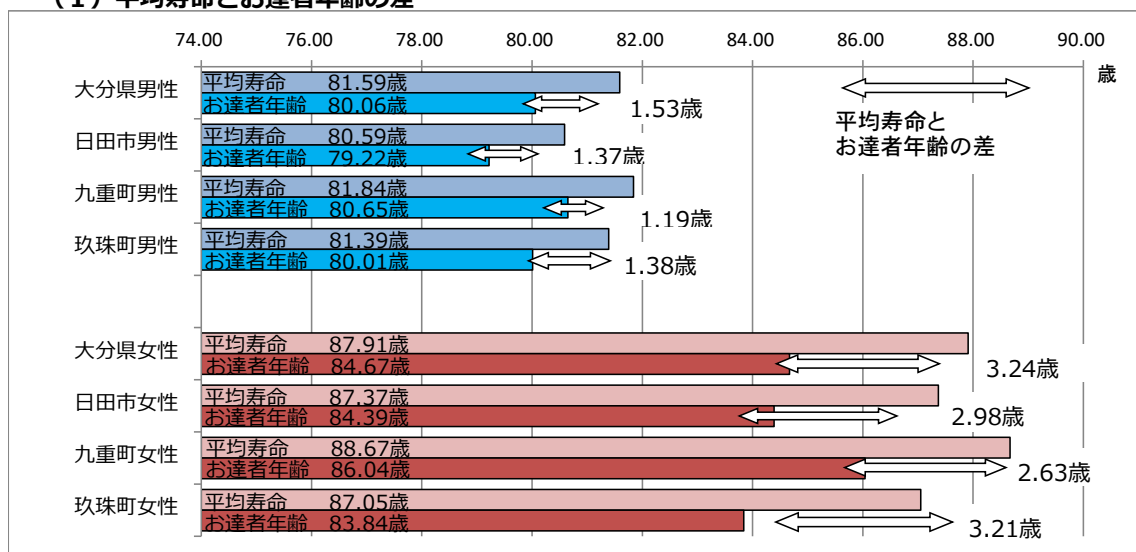
※1 「毎月流動人口調査報告」等から算出

※2 人口規模が小さく単年度では精度が低くなるため、5年間平均値を使用

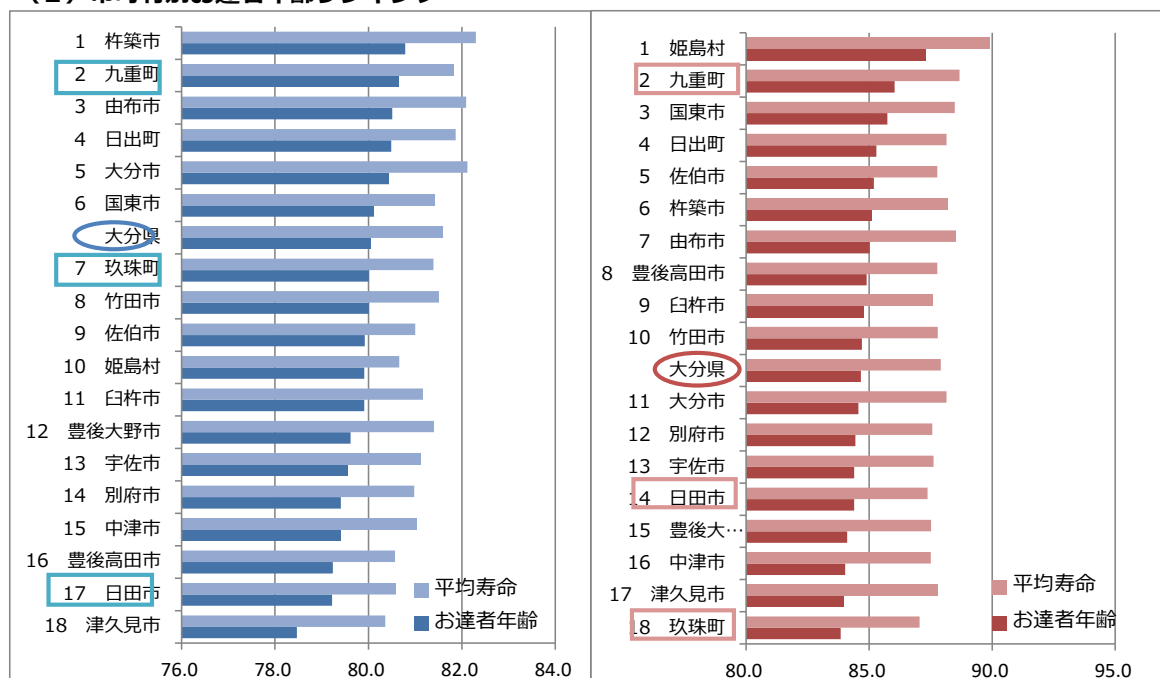
※3 「要介護2以上に認定を受けていない方」を健康として定義

管内は男性よりも女性の方が平均寿命及びお達者年齢ともに長く、平均寿命とお達者年齢の差は、男性で約1~1.5年、女性で約3年前後となっています。

(1) 平均寿命とお達者年齢の差



(2) 市町村別お達者年齢ランキング



(1)(2)の資料：厚生労働省「人口動態調査」の調査票情報を利用し大分県健康指標計算システムで集計（H28～R2平均）